



魅力に気付き、伝えるために

# 札幌の魅力再考



札幌の魅力について考えたとき、思い浮かべるものは何でしょう。  
 おいしい食べ物、豊かな自然、利便性の高い都心部——。  
 このほかにも、私たちがまだ気付いていない魅力がたくさんあるのではないのでしょうか。  
 市では、市民の皆さんに札幌の素晴らしさをあらためて感じてもらうとともに、  
 街の魅力をさらに高め、国内外へ発信していくための取り組みを進めています。  
 今回の特集は、インタビューなどを通じ、これからの札幌の魅力創造と発信について考えていきます。

[詳細] 政策企画部企画課 ☎211-2192



## 札幌の魅力をより多くの人に伝えるために

変化の時代にあっても、魅力あふれる街であり続けるために、市では既に知られている観光地や名物に加え、新たな「札幌ならではの魅力」を生み出し、発信していくことが必要だと考えています。そのために、皆さんと一緒に次のことに取り組んでいきたいと考えています。

**魅力を再発見**

日々の暮らしの中に、皆さんが気付いていない魅力がまだあるはず。まずは自分だけの「大好きな札幌」を探そう。

**魅力の創造**

札幌の魅力を、組み合わせたり、発展・進歩させたりしながら、新たな魅力を創っていく。

**魅力の発信**

自分が好きなどころ、場所、モノなどを、周りに広めていこう。

笑顔になれる街を目指して  
「サッポロスマイル」ロゴ

**SAPPORO**

住む人や訪れる人がもっと札幌を好きになり、笑顔でいられるように、市では笑顔を表すこのロゴとともに、札幌の魅力を広めていきます。

フェイスブックもご覧ください  
 [www.facebook.com/sapporosmile](http://www.facebook.com/sapporosmile)



もう一度、札幌の好きなところを  
考えてみると、新たな魅力が  
見えてくるかもしれませんね。

SAPPORO  
魅力を再発見

## 移住してきたから分かる 札幌の四季や自然の 素晴らしさ

北海道大学農学研究院 准教授

笠井 美青さん Kasai Mio

大阪府生まれ。5歳～大学時代まで福岡県で過ごし、その後、宮崎県、オーストラリア、茨城県、ニュージーランドで生活。平成22年9月に札幌へ

**土** 砂災害の研究者として九州や本州、オセアニアで生活し、22年9月に札幌に来ました。雪国暮らしは初めてで、降り積もる雪がとても美しく、「さすが札幌」だと思いました。その後、ツルツル路面や雪道の運転の苦勞も知りましたが、でも寒くて厳しい冬があるからこそ、春の訪れがとてもうれしく感じられます。札幌は四季の移り変わりが素晴らしい。夏は湿気が少なく、爽やかで過ごしやすいです。大学時代まで過ごした福岡も好きですが、札幌にいて暑い夏の福岡には帰りたくないです(笑)。

芸術や音楽を楽しむ場所や機会が充実しているところもうれしいですね。音楽はKitaraをはじめ、夏にPMFの演奏会が街のいろいろな所で気軽に楽しめますし、芸術の森では作品鑑賞はもちろん、自然散策

もできるところが魅力的です。

食べ物は、魚介類のほか、道産の野菜が特においしい。地元食材にこだわった個人経営のレストランも多くて、お店探しも楽しめますよね。

でも、そんな魅力ある札幌の中でも一番素晴らしいのは、都会でありながら、身近に自然や緑があふれているところでは。街並みは碁盤の目に整備され、地下鉄などの交通網も発達し、利便性は抜群。一方で、そんな都心近くに、原生林での散策が楽しめる円山があったり、緑や水辺が美しい中島公園があったり。

長年、札幌に住んでいると当たり前にも思えることでも、外から見ると実は魅力的なところはたくさんあると思います。もう一度、この街の好きな場所や良いところを考えると、新たな魅力が見えてくるかもしれませんね。



↑中島公園は笠井さんが最も好きな場所の一つ。緑や水辺、Kitaraでの音楽など、大好きなものが集まった憩いの場所とのこと。

### 札幌居住経験のある 道外在住者と札幌市民に聞く 「札幌の魅力」

札幌のイメージについて「自然」「環境」などの分野別と、自由な意見を求める、2種類のアンケート※を実施しました。結果の一部を紹介します。

#### 魅力考察 その1

札幌に住んだことのある道外在住者の「札幌のイメージ」

| 順位 | キーワード  | 代表的な回答                     |
|----|--------|----------------------------|
| 1位 | 自然     | 街と自然が近い、自然に囲まれている          |
| 2位 | 美しい    | 街並みが美しい、緑がきれい、雪と街並みが調和     |
| 3位 | おいしい   | 食べ物、空気、水道水がおいしい            |
| 4位 | 食      | 食べ物が豊富、食材の宝庫               |
| 5位 | 過ごしやすい | 夏が過ごしやすい、梅雨がない、街が機能的で住みやすい |
| 6位 | 都会     | 適度に都会で適度に田舎、都会だが緑地も多い      |

※「まちづくり戦略ビジョン」策定のためのアンケート(23年6月実施)。市民は2,723人(無作為抽出)、道外在住者は1,087人(インターネットアンケート調査)から回答。



僕のカレーが、札幌の魅力になってくれたらこんなにうれしいことはないですね。

SAPPORO  
魅力を創造

## 札幌の玉ネギを使ったカレーで街の新たな魅力を創る

株式会社ブルックスカレー 代表取締役

土居 賢太郎さん Doi Kentaro

15歳のとき料理人を志し、ホテルで修業を開始。フレンチやイタリアン、エスニック料理などを学び、22年12月に「温故知新ブルックスカレー食堂」を開業

**日** 本での玉ネギ栽培の発祥の地が札幌で、その最初の品種が「札幌黄」っていうんです。日本で一番最初って、すごいことじゃないですか？僕はそれを誇りに感じていて、札幌黄をみんなに知ってもらい、食べてほしいと思ったんです。それで札幌黄をふんだんに使ったカレーを作り始めました。

カレーにしたのは、家庭でなじみのある料理だから。「札幌黄を使ったらこんなおいしいカレーができるんだ、家でも作ってみたい」とお客様に思っただけで、もちろんそんな簡単にうちの店の味は真似できないですよ（笑）。でも、家庭で真似してみたくなるよう、スパイスをあまり使わず、玉ネギの甘みを生かしたカレーにしています。そして、そのカレーが広まれば、札幌黄の名前も広まり、消費も増えてい

くのではと思ったんです。

札幌黄は流通量が少なく、ここ十数年で市場から消えかけていました。味は抜群ですが、腐りやすく管理が難しいんです。でも、やっぱり歴史ある札幌黄を残したかったし、みんなに食べてほしかった。それで、ある農家さんに、3年間ずっと掛け合って、思いを理解してもらい、生産体制を整えてもらいました。今では市の補助制度を利用して、札幌黄を使ったカレーまんやレトルトカレー、業務用のカレーソースなどを作り、東京でも販売していますよ。

いつか札幌黄が入ったカレーは全て「ブルックスカレー」と呼んでもらえるようになってほしいです。そしてそれが、札幌の新たな魅力として日本中に広まってくれば、料理人としてこんなにうれしいことはないですね。

土居さんが利用した制度

### 6次産業活性化推進事業補助金

農業者などの食材生産者と、製造業・サービス提供者が連携して新商品を開発する際、費用の一部を市が補助。札幌産商品として道内外へ販売されています。



カレールーに溶け込んだ札幌黄の自然な甘みが味わえます。  
■温故知新ブルックスカレー食堂  
所在地 東区伏古8の3マサミツビル  
電話 785-5766

### 魅力考察 その2

札幌に住んだことのある道外在住者と札幌市民による「魅力の評価」(5点満点)

「環境」「景観」など10分野50項目について、5点満点のアンケートを実施。ほとんどの項目で道外在住者(道外者)の評価が市民の評価を上回りました。項目の一部を紹介します。

|    | 項目                   | 市民  | 道外者 |    | 項目                     | 市民  | 道外者 |
|----|----------------------|-----|-----|----|------------------------|-----|-----|
| 環境 | まちが清潔できれい            | 3.6 | 4.1 | 文化 | 質の高い芸術文化に触れられる場所・機会が多い | 3.2 | 3.5 |
|    | 市街地に公園、水辺などが多い       | 4.0 | 4.3 |    | 四季折々のイベントなどが多い         | 3.6 | 4.0 |
|    | 家庭や企業で省エネの取り組みが進んでいる | 3.0 | 3.4 |    | 新しい文化が創造・発信されている       | 3.0 | 3.6 |
| 景観 | 美しい景観が保全されている        | 3.5 | 4.1 | 安心 | 子どもを産み育てやすい            | 3.1 | 3.7 |
|    | シンボルとなる空間・景観がある      | 3.6 | 4.2 |    | 老後も住み慣れた街で暮らせる環境が整っている | 2.9 | 3.5 |
|    | 散策などが楽しめる道が整備されている   | 3.5 | 4.2 |    | 医療・福祉サービスが充実している       | 3.1 | 3.6 |



映画化までに16年。  
時間をかけてでも、大好きな札幌を舞台に  
映画を撮りたかった。

SAPPORO  
魅力を発信

# 札幌の街が持つ魅力を 映画で発信

映画「探偵はBARにいる」プロデューサー

須藤 泰司さん Suto Yasushi

高校まで札幌で生活。京都の大学を卒業後、東映に入社。ドラマ「相棒」のプロデューサーとして活躍。すすきのが舞台の映画「探偵はBARにいる」ではプロデューサー、脚本制作も務める

**狸** 小路やすすきののにぎわい、市電通り沿いに立つ古い建物、そこに降り積もる雪。とにかく札幌の街の雰囲気が大好きなんです。

探偵がすすきのを舞台に活躍する映画「探偵はBARにいる」の原作本との出会いは、入社2年目のとき。札幌が舞台であるストーリーに興味を引かれ、読み始めると面白くて、これは映画にできるかもと思ったのが始まりでした。

実際に映画化を進める中で、特にこだわったのが主人公役。原作者は札幌の人で、主人公の探偵も札幌が根城。となると探偵役は道産子だろうと。そんなとき北海道で放送されていたおおいずみよしの出演番組を見て、探偵にぴったりだと思い、主演をお願いしました。

僕はこの映画の脚本も担当したのですが、その際、街の空気が伝

わるように、撮影場所をイメージしながら書きました。主役の移動シーンは市電にしようとか、旭ヶ丘辺りの閑静な雰囲気を入れようとか。何より、皆さんの見覚えのある場所が映画に出てきたら、きっと喜んでもらえるだろうなと思って、札幌の街なかの建物や路地など、どんどん作品に取り込みました。

昨年、続編を撮影したのですが、札幌市はコンテンツ特区に指定され、撮影の協力体制がさらに進んだおかげで、市街地の映像を前作以上に盛り込むことができましたよ。

原作本を読んでから、映画化までに16年かかりました。そんなに時間をかけても映画化したかったのは心から札幌が好きだから。これからも札幌を舞台に映画を作って、まちの素晴らしさをたくさんの人に知ってもらえたらうれしいですね。

映画・映像が  
撮りやすく

## 札幌コンテンツ特区

撮影手続きを行いやすくなり、海外と連携して映像制作を行ったりすることで地域経済の活性化を図る特区。札幌は23年12月に国から指定された。



次回作「探偵はBARにいる2」は今年5月に公開。すすきの、大通公園のほか、通りを封鎖して撮影した市電のシーンなど、札幌の映像が満載です。

## 市民みんなで 札幌の魅力を高め、伝えていこう

皆さんが「札幌のここが好き」、「ここが魅力的」と感じることを、自分なりの方法で、創造・発信していくことが、札幌の魅力をさらに高めることにつながります。まずは、札幌の大好きなところを見つけることから始めてみませんか。

### 魅力考察 その3

### 札幌に住んだことのある道外在住者と 札幌市民による「魅力の評価」(5点満点)

右ページのほか、「防犯・防災など安全安心なまちづくりに取り組んでいる」など、日常生活に身近な取り組みも、道外者の評価が市民の評価を上回っています。

| 項目                        | 市民  | 道外者 |
|---------------------------|-----|-----|
| 防災・防犯など安全安心なまちづくりに取り組んでいる | 3.0 | 3.5 |
| 住民同士の交流やふれあいが活発           | 2.8 | 3.4 |
| 子育てや介護支援の支え合いが広がっている      | 2.8 | 3.3 |
| 札幌ならではの食文化・産業が充実          | 3.3 | 4.1 |
| 札幌ブランドの優れたモノやサービスが開発されている | 3.0 | 3.9 |